

コンビニ業界売上の変化から

21211283

春山秀斗

1. 目的

私たちの生活の中で必要不可欠なコンビニ。ではコンビニ業界は本当に成長をしているのかということ調べるために2008年から2012年のコンビニ10社の売上高の変化から顧客数、客単価はどんな変化をしているのか。これらの変化の要因として何があるのかということ調べてみるため。

2. 結果

売上と客単価は2010年から2011年の変化が大きかった。顧客数は2011年から2012年の変化が大きいことが分かった。今回は売上だと客単価の変化が大きかった2011年を中心として考える。コンビニの利用者数は年々増加していることが分かった。商品の構成に変化をしており、それにより商品別販売額も変化が伴っていた。顧客の要望にもっと応えられるようになったために売上や客単価が大きく上昇したのであろう。これは変化の要因の一つであると考えられるであろう。コンビニは多くの人に必要とされ、市場は成長し続けているといえるであろう。